（気候情報の解析）

熱帯夜の出現に関連が深いと考えられる夜間対流顕熱や人工排熱（顕熱）、気象条件としての熱帯夜出現時の風速別風配図、また大気の換気を阻害する建物の建て詰まり状況を同一スケールの地図上に重ね合わせた例が図 2-13 である。

図より熱帯夜出現日数の多い都心部では対流顕熱と人工排熱が多く、暴露人口の多い周辺部では夜間対流顕熱が多く建物が建て詰まり状態にあることや、南から吹き込む風によって熱帯夜の出現日数分布が北に押し上げられている可能性があることなどがわかる。

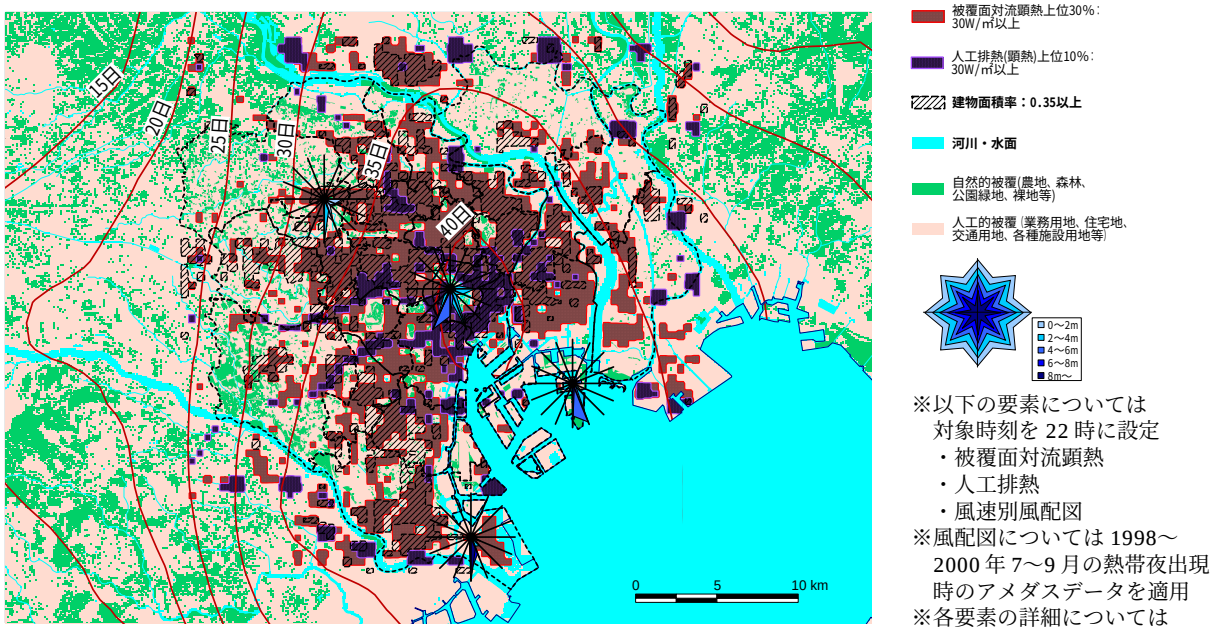

図２－13　夜間（22 時）を対象とした気候解析図の例

（課題の抽出）

図 2-14 は以上の分析結果から得られた課題を整理した例である。夜間熱帯夜の緩和対策には、①夜間対流顕熱・人工排熱（顕熱）の多い都心業務地区と、②夜間対流顕熱が多く暴露人口の多い周辺地域において、削減対策を進めて行く必要があると考えられる。

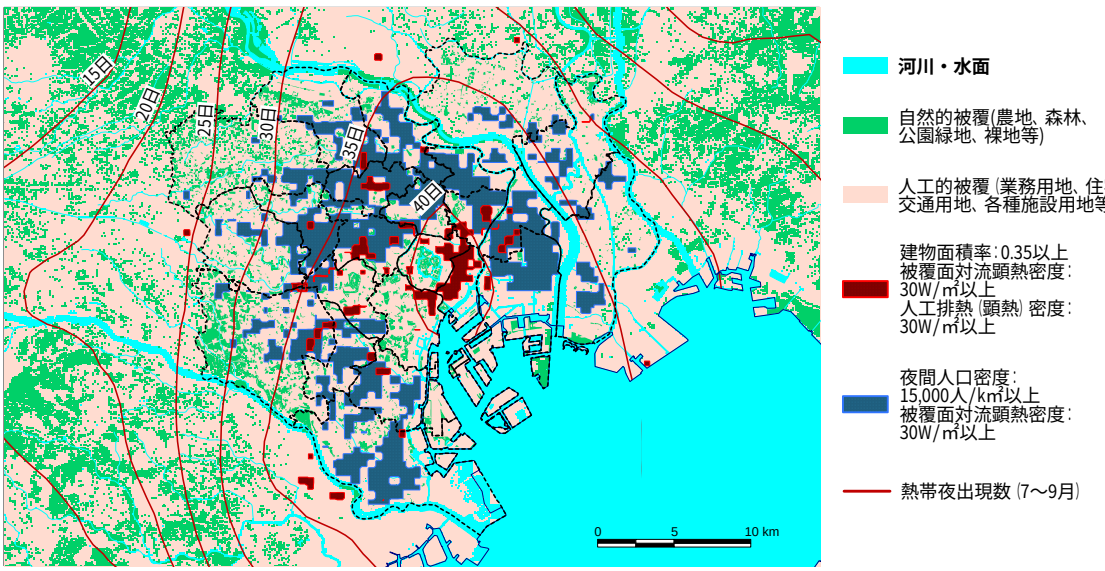

図２－14　熱帯夜対策のための課題地区の例